

会 議 録

会 議 名	令和5年度第2回東松山市文化財専門調査員会議					
開 催 日 時	令和5年10月23日（月）			開 会	13時30分	
				閉 会	15時10分	
開 催 場 所	東松山市総合会館3階 302会議室					
会 議 次 第	開会 あいさつ 1. 議題 （1）令和5年度事業進捗状況について （2）令和5年度指定文化財パトロール中間報告 （3）令和6年度事業計画（案）について 2. 報告 3. その他 閉会					
公開・非公開の別	公開	傍 聴 者 数		0人		
非公開の理由 （非公開の場合）						
委員出欠状況	議長	榎本 榮一	出席	調査員	原田 吉樹	出席
	調査員	新井 裕子	出席	調査員	坂野 千登勢	出席
	調査員	榎本 直樹	出席	調査員	横山 晋一	欠席
	調査員	中澤 利雄	出席			
事 務 局	柳沢 知孝 生涯学習部長			近江 哲 埋蔵文化財センター主任		
	田島 信子 生涯学習部次長			矢口 翔馬 埋蔵文化財センター主任		
	佐藤 幸恵 埋蔵文化財センター所長					

次 第	顛 末
開 会	佐藤所長
あいさつ	柳沢部長 榎本榮一議長
会議の公開、会議録署名委員の指名	○会議の公開、傍聴人、会議録署名委員の指名について (佐藤所長) 会議を公開とするか非公開とするか、傍聴人の申込みがなかったこと、会議録の署名委員を指名することについて、説明 ・会議については公開、傍聴人は申込がなかった、会議録署名委員は原田調査員と坂野調査員を指名することについて、全員了承。
1. 議 題	<p>(1) 令和5年度事業進捗状況について</p> <p>●文化財啓発事業 (矢口主任) 説明。 質疑なし。</p> <p>●文化財保存事業 (矢口主任) 説明。 質疑なし。</p> <p>●文化財調査事業 (矢口主任) 説明。 質疑なし。</p> <p>●埋蔵文化財センター運営事業 (矢口主任) 説明。 質疑なし。</p> <p>(2) 令和5年度指定文化財パトロール中間報告 (新井調査員) パトロールを実施した正法寺関係の文化財については異常なし。双雀草文鏡については例年管理状況を確認するのみであったが今回は現物を実見し、良好に保存されている状況を確認した。 (榎本榮一調査員) 愛染明王・毛塚の石仏については除草が行き届かなくなってきており、文化財周辺の環境の悪化が懸念される。道標「八王子道」については碑面にモルタルのようなものが付着しており、除去等の対応が必要。毛塚薬師如来坐像については表面に動物のフンのような付着物が確認された。手で除去しておいたが、今後の経過観察が必要。 (矢口主任・近江主任) 了解した。現地確認し、対応が必要か考える。</p>

(榎本直樹調査員) 特になし。

(中澤調査員) 割り当てられた6件すべて確認してきた。なんじゃもんじゃの木は上部の枝が枯れており、落枝のリスクもあるので取り除いたほうがよい。

(矢口主任) 枝を除去して樹勢に影響はあるか。

(中澤調査員) 枯れた枝なので寧ろ取り除いたほうがよい。

(原田調査員) 阿弥陀一尊板石塔婆・阿弥陀三尊板石塔婆・仁治二年の板石塔婆については、管理者の住宅がなくなったことと、近接する畑が耕作をやめたことなどが重なり、周辺の草が繁茂して文化財までのアクセスが難しくなっている。

観音下の清水は、落ち葉が溜まっているが特に変化なし。

清見寺の板石塔婆は地衣類が目立つが変化なし。

十三仏板石塔婆は覆い屋も整備されてとてもよく管理されている。

(坂野調査員) おくま山古墳については墳丘北側に接する建物がなくなり、その跡地でゴミ穴のような掘削跡が確認できた。視認した限りでは埴輪などはなかったが、古墳の周溝にあたる部分なので今後注意が必要。また周辺の畑などに獣の足痕が確認でき、キツネなどが墳丘に巣穴を掘削して破壊する獣害についても、注意が必要。同様の被害は野本氏館跡の土塁でも確認できる。この土塁については竹の繁茂で侵食される被害にも十分なケアが必要。

(矢口主任) キツネによる被害は高坂館跡などでも毎年確認されている。これまで忌避剤の散布やセンサーライトの設置など様々な対策を講じてきたが抜本的な解決に至っておらず、事務局としても打つ手がない状況。巣穴を埋め戻すとかえってほかの場所を掘削されて被害が広がるため、現在はあえて埋め戻しを行っていない。今後は被害を食い止める事のほかに、壊されてしまっても復元できるようなデータを集めていくことが大切と考えている。

(中澤調査員) キツネは保護動物ということだが、本当にキツネなのか。

(矢口主任) 最初に被害が確認されたのは將軍塚古墳で、その際に定点観測によりキツネであるということを確認している。以降は現地などでキツネを視認しており、キツネであることは間違いないと思われる。いずれにせよ史跡に大きな影響がある場所については埋め戻しなどの対応も必要と考えるが、それ以上の対応は難しい。

	<p>(3) 令和6年度事業計画(案)について (矢口主任)説明。 質疑なし。</p>
<p>2. 報告</p>	<p>○埼玉県指定文化財「箭弓稲荷神社社殿付棟札二枚」について ○東松山市指定文化財「正法寺の中世文書」について ○東松山市指定史跡「三千塚古墳群」について ○東松山市指定史跡「桜山窯跡群」について ○東松山市文化財保存活用地域計画について ○令和6年6月市議会一般質問について ○東松山市社寺建築悉皆調査報告書について (矢口主任・近江主任)説明。 (新井調査員)正法寺の中世文書の再整理については、中性紙の封筒に入れ替えるなど、保管状況の改善ができて本当に良かったと思っている。封筒のほかにも、これまでは上部開放の箱での保管だったが、今回箱ごと取り替えて蓋を閉じることができるようになり、虫食い等の被害に対する対応として環境改善が図れた。 (坂野調査員)東松山市指定史跡「三千塚古墳群」については雷電山古墳の墳丘断面が確認できる状態で、調査員の皆さんもご興味があったら見ていただいてもいいと思う。 (原田調査員)雷電山古墳については基盤層を確認できる状況か。 (坂野調査員)そこまでの深さではない。 (原田調査員)雷電山周辺には1000万年程前に堆積した楊井層の礫岩が分布している。楊井層に含まれる円礫が古墳築造に利用された可能性も考えられるので現地を見てみたい。 (中澤調査員)東松山市文化財保存活用地域計画の原稿についてだが、東松山市の概要のところに「生態系」という項目がある。しかし記載内容は動植物に関することで「生態系」ではあまりに広すぎる。また記載内容の中で「～は消えてなくなってしまった」というようなニュアンスの表現があるが、動植物に関しては完全になくなったことを証明することが不可能で、こうした断定的な表現は適切でない。また項目立てとして「哺乳類」と「植物」だとあまりにカテゴリーが含む内容のボリュームに差がありすぎるので、書くのであればすべて書き切るか、前提として限定して記載している旨をどこかに示すべき。 (矢口主任)地域計画の主旨を考えればこの部分を深く掘り下げて</p>

	<p>記載する必要はないと考えている。ご意見を踏まえ、趣旨に沿った内容に変更する。</p> <p>(榎本榮一調査員) 東松山市社寺建築悉皆調査報告書について仏像の写真はどこまで載せるのか。また一覧表にある仏像の製作年代はどのように決めているのか。</p> <p>(近江主任) 仏像の写真については全て載せるのは紙面の都合上難しく、抜粋になる。仏像についてはすでに市史編纂事業の中で報告書がまとまっており、年代についてもそれを参考に記載している。</p> <p>(榎本直樹調査員) 表のナンバーリングについてはダブルナンバーになってしまうと混乱をきたすし、読みにくい。資料ナンバーが振られているのであれば、新たに写真ナンバーを付すのではなく、資料ナンバーを写真のキャプションに記載して突合できるようにする方が現実的ではないか。</p> <p>(近江主任) 表のナンバーリングについては文化財保護委員会でも指摘があった点で、ご意見を踏まえて修正する。</p>
3. その他	<p>次回会議日程について</p> <p>合同研修会について</p>
閉 会	佐藤所長
<p>上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。</p> <p>令和5年11月 2日 署名委員 <u>原田 吉樹</u></p> <p>署名委員 <u>坂野 千登勢</u></p>	